

各位

わかもと製薬株式会社
日立化成工業株式会社

アレルギー性結膜炎迅速診断検査キット「アレルウォッチ 涙液 IgE」新発売のご案内 — 国内初、涙液中の総 IgE の測定により 10 分で診断可能 —

わかもと製薬株式会社（本社：東京、代表取締役社長：石井敬志、資本金：34 億円、以下、わかもと製薬）と、日立化成工業株式会社（本社：東京、執行役社長：長瀬寧次、資本金：155 億円、以下、日立化成）は、日立化成が開発したイムクロマト法（※1）を用いたアレルギー性結膜炎迅速診断検査キット「アレルウォッチ 涙液 IgE」を、製造販売元日立化成、販売元 わかもと製薬として、2008 年 11 月 7 日より医療機関向けにプロモーション活動および発売を開始いたします。

花粉、ハウスダスト等による眼のかゆみ、充血などの眼のアレルギー症状を訴える患者数は、国内で 2,000 万人以上ともいわれ、「スギ花粉の飛散量増加」、「大気汚染」、「環境の変化」、「食生活の欧米化」などの要因により、その患者数は今後も増加の一途をたどるといわれています。特に眼のかゆみは、個人差はありますものの、日常生活にも支障を来すほどの辛い症状が現れる場合があり、眼を強くこすることにより角膜（黒目）を傷つけ、さらなる症状の悪化を招くこともあります。

アレルギー性結膜疾患の診断は、掻痒感（かゆみ）、充血などの臨床症状を診ることに加え、アレルギーの際に結膜に存在する白血球の一種（好酸球）の検出、皮膚テスト、血清中の総 IgE（※2）や特異的 IgE 測定などの血液検査によって行われています。しかしながら、患部からの好酸球の検出は、検査手段の煩雑さもあり、日常診断の場で毎回実施することは困難を伴います。また、皮膚テストや血液検査は必ずしも結膜炎の病状を正しく反映していない可能性があります。眼患部でのアレルギー反応を検索する方法として、涙液を試料とした検査方法の研究が行われておりましたが、検体量が微量であるため、実用化されていませんでした。

今回、日立化成が開発した「アレルウォッチ 涙液 IgE」は、これまでのアレルギー性結膜疾患の検査の問題点を解消し、涙液を試料として涙液中の総 IgE の測定を迅速、簡便に行うことのできる、イムクロマト法による国内初のアレルギー性結膜炎を診断するキットです。特別な機器を必要とせず、検査施設を持たない医療機関でも使用でき、また診察時に迅速に診断結果（10 分）が得られることから、適切な治療に貢献できると期待されています。

「アレルウォッチ 涙液 IgE」は、ライフサイエンスを重点事業領域の 1 つととらえ、診断薬を中心にビジネスを展開する日立化成が製造販売元となり、高齢化社会に備えていち早く眼科領域に重点を置いて事業を行っているわかもと製薬が、日本国内で発売します。わかもと製薬では、発売開始 3 年後に約 5 億円の売上を目標にしています。

わかもと製薬は医療用眼科用剤として世界で初めての熱ゲル技術を応用した持続性緑内障高眼圧治療剤『リズモン TG 点眼液』、アレルギー性結膜炎治療剤『ゼペリン点眼液』などの眼科治療薬に加え、眼科用診断薬としてアデノウイルス迅速検査キット『キャピリア® アデノアイ』を販売しております。

※1. イムクロマト法：試験紙上に抗体を線状に塗布させた部分を作り、着色粒子で標識した抗体と抗原が結合した抗原抗体複合体が試験紙上を移動する際に抗体に集中的に捕捉されることで現れる色付きのラインの有無によって定性分析する方法。

※2. IgE：免疫グロブリン E の略称。アレルギーに関連する抗体で、アレルギーを起こす元となるアレルゲン(抗原)に結合して、様々なアレルギー反応を引き起こすことが知られている。特定のアレルゲンに反応する IgE のことを特異的 IgE と呼ぶ。

以上

《アレルギー オッチ 涙液 IgE の概要》

承認年月日	2006年8月29日
発売開始日	2008年11月7日
一般名	汎用検査用免疫グロブリンEキット
測定原理	イムノクロマト法
効能効果	涙液中の総 IgE の測定
判定時間	10分
貯法	2～25℃
有効期間	8ヵ月
包装単位	10テスト用
キット構成	ヒト総 IgE 検出用ストリップ 10本 [付属品] 展開液ボトル 1本、展開用チューブ 10本、チューブスタンド 1個
体外診断用医薬品/承認番号	21800AMY10116000
保険点数	100点 (D004 穿刺液・採取液検査 涙液中総 IgE 定性 100点) * *アレルギー性結膜炎の診断の補助を目的として判定した場合に月1回に限り算定

《「アレルギー オッチ 涙液 IgE」のパッケージと検査キット》



■報道関係お問い合わせ先

わかもと製薬株式会社 広報室 [担当：福原] 電話：03-3279-0389
 日立化成工業株式会社 社長室 広報・IRグループ [担当：長谷川、新田] 電話：03-5381-2371

■製品に関するお問い合わせ先

わかもと製薬株式会社 研究開発本部 [担当：大神、中野] 電話：03-3279-0682 FAX：03-3279-6450
 日立化成工業株式会社 ライフサイエンス部門 [担当：大竹、片岡] 電話：03-5446-9220 FAX：03-5446-9467

別紙

■ 会社概要

わかもと製薬株式会社

本社 東京都中央区日本橋室町1丁目5番3号

設立 1933（昭和8）年

資本金 33億9500万円

売上高 101億29百万円（2007年3月期）

社員数 474人（2008年10月1日現在）

事業内容 医療用医薬品・眼科用剤・検査薬及び一般医薬品の製造・販売

事業所 支店：大阪

工場：相模大井工場

営業所：札幌、仙台、名古屋、広島、福岡

研究所：相模研究所

・ わかもと製薬の事業活動について

わかもと製薬は、「医薬品の研究開発、生産、供給を通じ健康で豊かな社会の創造と発展に貢献する」を経営理念とし、長年、保健薬として愛され続ける『強力わかもと』を基盤とした醗酵・培養技術の蓄積とバイオテクノロジー研究成果から、抗生物質耐性乳酸菌製剤『レベニン』、繊維素溶解酵素製剤『ウロキナーゼ注』などの各種医薬品を生み出してきました。また高齢化社会に備えていち早く眼科領域に重点を置いた研究開発を推進し、医療用眼科用剤として1989年には白内障などの手術後の炎症を抑制する水溶性非ステロイド性抗炎症点眼剤『ジクロード点眼液』を発売し、1999年には世界で初めての熱ゲル技術を応用した持続性緑内障高眼圧治療剤『リズモン TG 点眼液』、翌年には新規アレルギー性結膜炎治療剤『ゼペリン点眼液』を発売するなど社会に役立つ豊富な製品群を生み出しています。さらに、検査薬としては抗原抗体反応を用いた技術を応用し、ヘリコバクターピロリの便中抗原検出、便鮮血検査などの体外用医薬品や実験動物用感染症試薬である「モニライザ」を開発、製造しています。眼科用診断薬としてはアデノウイルス迅速検査キット『キャピリア® アデノアイ』を販売しております。